

令和5年度

ニューノーマル GUNMA CLASS PJ

県内全ての小・中・義務教育学校の

全ての学年・教科で少人数指導を実現

群馬県教育委員会学校人事課

1 趣 旨

◎ 教育イノベーションの一環として、1人1台端末の効果的な活用により、一人一人の特性や学習進度等に応じた「個別最適な学び」と、答えが一つではない課題や答えのない課題に対応する「協働的な学び」を推進し、群馬ならではの新しい学びを確立する。

2 方 針

全学年において少人数学級編制を実施



学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
群馬	30人	30人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人
国 標準	35人	35人	35人	35人	40人	40人	40人	40人	40人

3 実施方法

少人数学級編制に必要な定数は、国加配の活用と、県単独予算を活用して配置した教員で対応する。

令和5年度予算額（県単）

798,250千円

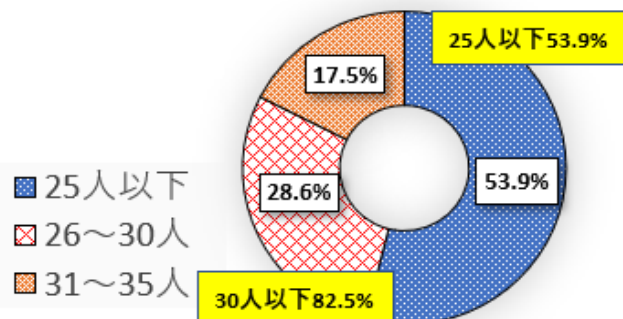
ニューノーマル GUNMA CLASS PJ

令和5年度

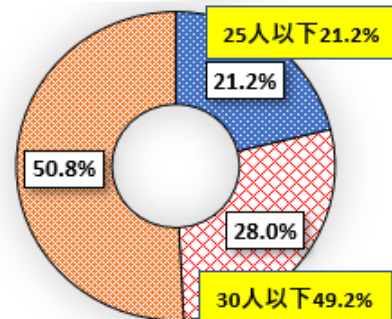
群馬県教育委員会 学校人事課

小学校の82.5%、中学校の49.2%の学級で30人以下の少人数学級が実現しています

1学級当たりの児童数（R4）

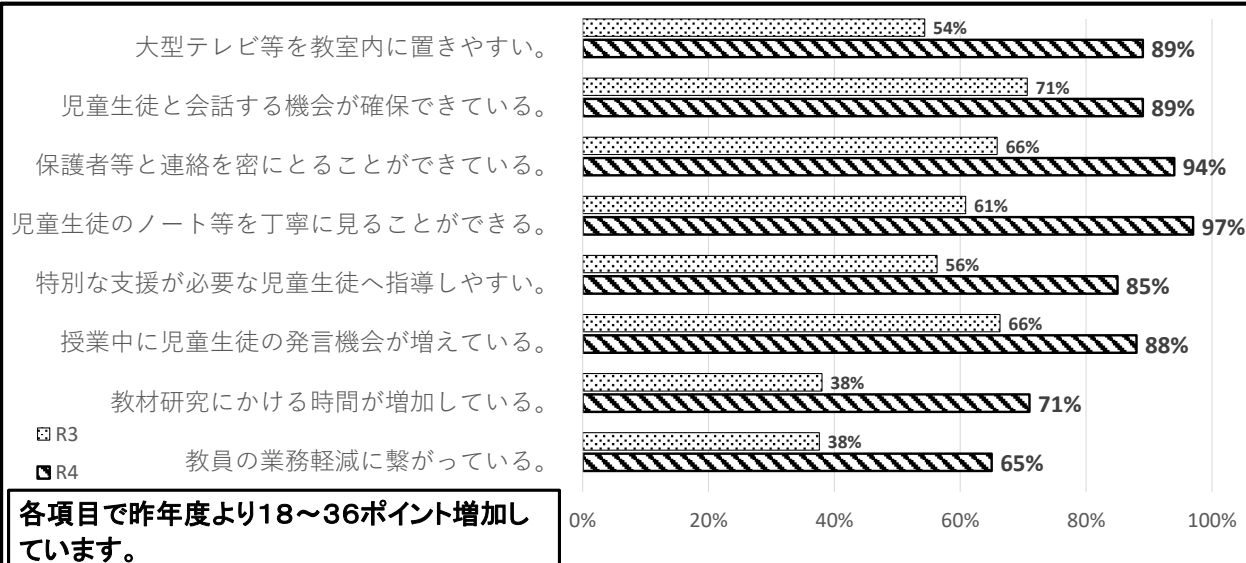


1学級当たりの生徒数（R4）



	ニューノーマルGUNMA CLASS PJ	国標準での学級編制を行った場合
30人以下の学級編制	小学校82.5%、中学校49.2%	小学校67.7%、中学校28.7%
36人以上の学級編制	なし	小学校7.4%、中学校32.9%

ニューノーマルGUNMA CLASS PJ アンケート結果(令和4年9月実施)



～各学校から寄せられた声(アンケート自由記述より)～

児童生徒の学校生活が充実しています

- 少人数学級編制が実現していることで、子供たちが落ち着いた状態で学年経営ができている。（小学校）
- 学級の人数が減ったことで生徒一人一人が責任をもって行う学級の仕事が相対的に増え、各自の自己有用感を高める機会を増やすことができている。（中学校）

児童生徒一人一人に対するきめ細かな指導が充実しています

- 児童一人一人のつまずきや達成度を細かく把握することができ、授業改善につながっている。（小学校）
- 授業中タブレット端末を活用することで、生徒の理解状況や意欲に応じた学びが推進できている。（中学校）

働き方改革への取組が進んでいます

- 少人数学級編制の導入により、採点業務や事務作業量の減少につながり、先生方の教材研究の時間が十分確保できている。（小学校）
- 学校に配置される教員数が増えることで、1人1人の校務分掌を減らすことができる。（中学校）

生徒指導に役立っています

- 子供たち一人一人の表情の変化や友人との関わりについてきめ細かく捉えることができている。（小学校）
- 生活ノートや宿題に目を通すことに時間をかけることができ、生徒の実態を的確に把握できている。（中学校）